

参考資料

『通訳・翻訳ジャーナル』2019年秋号（イカロス出版）

特集「通訳・翻訳をワンランクアップさせる法」／ランクUP Lesson 翻訳編

「うまい翻訳！」と感じてもらえる 日本語文章の書き方（pp. 40-43）より

執筆者：磯崎博史

表現力を養うために

インプット&アウトプットのすすめ

それではここで、日本語の文章における表現力を向上させるために欠かせないことをお話しします。それは、「良質の文章をインプットして気づきを強め、言葉に対する感度を上げる。さらに、そこで受容した表現などを進んでアウトプットし、自分のものにしていく」ということです。

質の高い日本語で書かれた文章を自分の中に取り入れれば、誰でも言葉（日本語）に対する感度を上げていくことができます。それは、目の前にある文章の問題点を発見する上でとても大切なことです。問題発見ができれば、「英和辞典を引き直す」「類語辞典で類語を調べる」といった、問題解決のための具体的な行動に移ることができます。

さらにふだんから、読書などによって自分の中に取り入れた表現を進んでアウトプットしていけば、読み手に対する伝え方の幅も広がり、テキストの品質も高まります。ぜひ、良質の文章を取り入れていただきたいと思います。

今回は、これまでに私が校閲した書籍の中から、インプット用のおすすめとして翻訳書と和書の計2冊をコラムでご紹介しています。どちらも表現はもちろん、日本語としてとても品質の高い文章が収められているものです。この機会にぜひ読んで、学びを深めてください。

